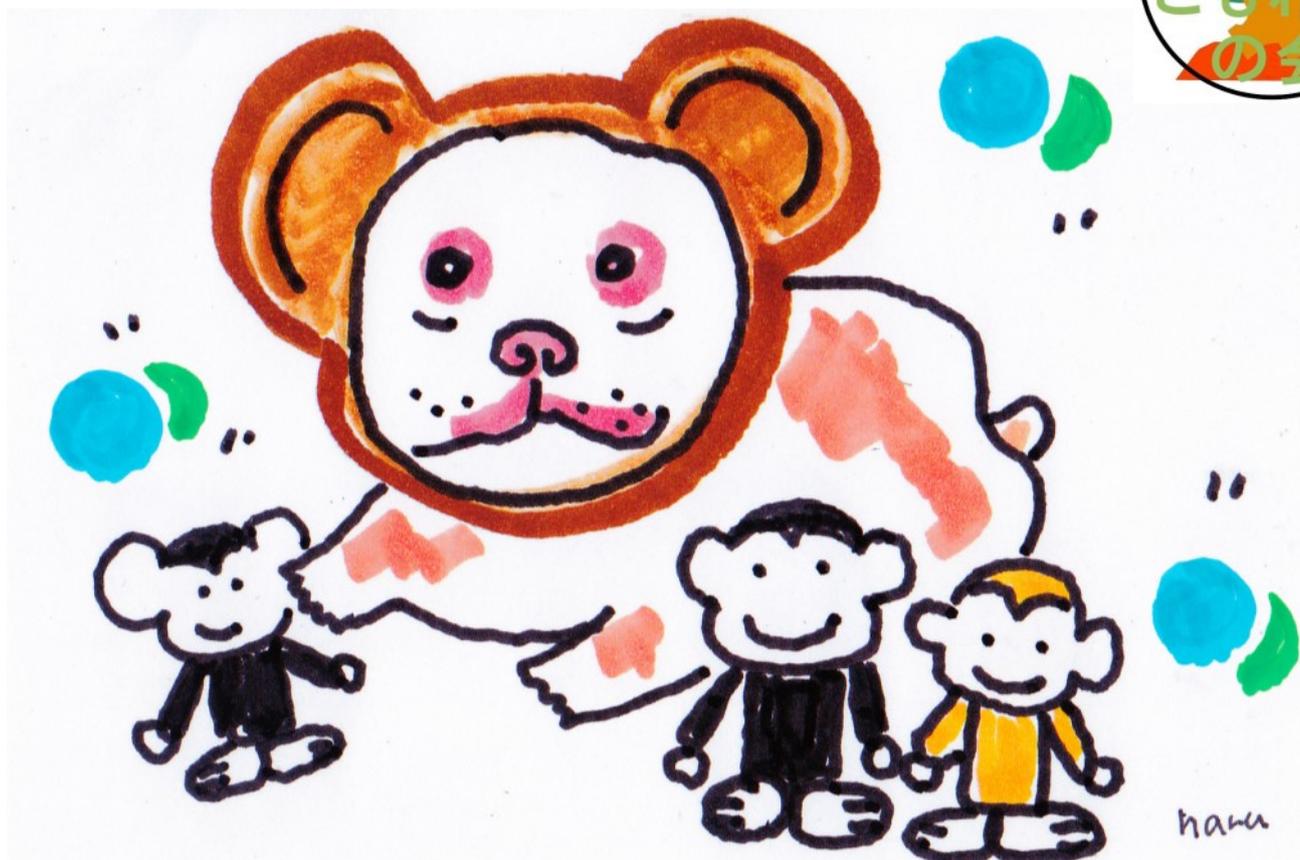


こもれび

～ 働く精神障害者 / 発達障害者 ～

当事者からの就労情報発信誌 No.16 (2014年2月)



komorebi_no_kai@yahoo.co.jp

http://blogs.yahoo.co.jp/komorebi_no_kai

「雇もれび」で検索。



目次

1. テーマ
2. 雇もれびの会議事録（1）
3. 雇もれびの会議事録（2）
4. 雇もれびの会議事録（3）
5. 社会保険労務士コラム
6. 山梨での取り組み
7. 情報・広告欄



1. テーマ

働く精神障害者を勇気づける

仕事探しをする病気仲間を勇気づけるため、また社会へのメッセージをこめて、当事者の生の声を集めてみようと思い立ち、2010年5月にフリーマガジンを発行しはじめてから、今号で第15号になります。年4回ペースでマガジン発行、最初は白黒で100部スタートしました。13号からはインターネットでも公開中です。

いま、病気をもち、クスリをのみながら働く精神障害者は増えています。そんな働く人たちを支えていく仲間や仕組みも整いつつあります。

でも精神の病気があると、仕事探しを諦めてしまう人、雇用するのをためらう人が多いのも事実です。活動目的は、働く精神障害者を勇気づけ、また雇用する健常者側を後押しすること、こうした気持ちを込めて、情報発信を継続したいと思います。

■第16号表紙は、胡屋 晴さんのイラストです。胡屋さんは、躁うつ病で仕事の傍らイラストを描いています。■就労体験談は、25年11月のものを収録しました。■「語る会」で障害年金の話題が多いので、社会保険労務士の先生に障害年金についてコラムを書いていただきました。■他地域（山梨県）の取組の紹介を掲載しました。以前、ボランティアとしてされていた支援者の方の記事です。ありがとうございます。（編集長 あざみ）

2. 雇もれびの会 議事録 (1)

雇もれびの会 議事録 2013年 11月9日@アートルーフ風花

参加者 10名 司会 Gさん

自己紹介

Aさん 公務員の非常勤の仕事をしている。フルタイムでクローズ（非開示）

Kさん 障害者枠で事務の仕事をしており、新しい職場になって1か月が過ぎた。

Tさん うつと社会不安障害。20年前から病院に通っている。この会のことはインターネットで検索した。現在 障害者枠のフルタイムで正社員の仕事で事務の仕事をしている。

Sさん 20年前から病院に通っており、現在7社目の会社。障がいオープン（開示）にして働いている。

Nさん うつ病 A型作業所に通所しており、現在4か月である。次の仕事へのステップだと考えている。

Mさん 「サポートルーム ゆい」というところからの紹介で来た。現在 病院で清掃の仕事をしている。

Bさん 9年前から病院に通っている。人間関係・職場環境への不適応が課題。5年前 アスペルガー症候群（発達障害）と診断された。仕事はある大手製造業の下請けの仕事をしている。

Hさん A型作業所に通っている。一日4時間で週5日間で働いている。人間関係に悩んでいる。

Gさん 就労移行支援事業所に通っている。2級の手帳を持っている。

Kさん B型作業所のスタッフをしている。健常者であるが神経症的なところもある。

この会に来た目的

Aさん 孤独な人を勇気づけたい、会って話を聞きたい。

Tさん ひきこもりぎみで、一人での行動ばかりだった。みんなの現状を知りたい。自分のことも話したい。現状とこれからを考えたい。

Sさん 知り合いの方からこの会のことを聞いた。障害者を励ます会と聞いている。職場でのコミュニケーションが取れないので少しでも克服できるようこの会に参加した。働いているほかの人の状況も知りたい。

Nさん 話を聞くことで、自分の考えを確認して参考にしたい。

Mさん サポートルームゆいからの紹介。そこは、名古屋のマンションの一室で活動している支援ルームだ。生活指導員の方や保健所から雇もれびの会という自助会に参加してみたらどうだ、と言われた。



3. 雇もれびの会 議事録 (2)

Hさん デイケアに通っていた時に雇もれびの会の事を紹介された。サポートルームゆいもお世話になった。働いていないときに来たが、ピンとこなかったが、今は、働いている。仕事以外に人と関わりが欲しい。ひきこもりがちである。

Bさん 二週間前インターネットでこの会の事を調べた。森田療法の会などに参加した。社会不安障害があって人間関係が築けない。孤独から抜け出したい。

Gさんの「人生ここにあり」という映画を見て雇もれびの会の事を知った。この会で就労移行を知って、行きたいと思い現在に至る。外に出ることが目標であり目的だった。関西出身で名古屋に知人が少なく孤立していた。分かち合えるものを求めてここにきている。

Kさん 障害者の方への就労支援施設を作りたいと考えており、精神障害者の考えを勉強しにきている。現在、農業主体の障害者施設で働いている。

初めて来た方の話を聞く

Bさん 手帳を取って5年。クリーニング工場や運送会社などを転々とした。前職は毎日、1時間40分かけて通勤していて苦痛だった。当時、一人暮らしだったので、家賃を含めてすべて自分の力で生活したいへん苦しかった。今は、親とも和解して、実家で暮らしている。病気についても理解してもらえた。

手帳をもらって病気をオープンにしている。大手製造業の下請けで電気製品を作っている。一日に何百個と製品を作る黙々と仕事をできることが自分には合っている。毎日、組み立てやプラスチックの取り付けなどの仕事をしている。ほかにも、掃除、伝票整理、ごみだしなどもしている。

精神安定剤を服薬している。人生を楽しむことが今の目標。今の、この仕事はハローワークで障害者枠の担当者についてもらって、何回も探してようやくみつけた。8時間で残業なし、毎週5日の仕事が見つけられて、幸運だったと考えている。職場環境にも恵まれている。人間関係もいい。身体障害者の人と一緒に採用されたことが良かった。障害者同士助け合える。みんなも障害者に配慮してくれて優しい。

これまで(単発バイトを含め)38回転職している。採用されることは良いのだが、そのあとに不安にさいなまれる。採用が決まっても人間関係に不安を感じてしまって、就職辞退することもあった。

今の職場はリーダーも先輩も優しく人格者であるのもありがたい。前の会社では、大勢の前で「こんどの新人は障害者です。」と公表されてつらかった。運送業では、気性が荒い体育会系の男性社員が多くて、障害者だとわかると、無視されたり嫌がらせされた。前職で頑張ったので忍耐力がついたと思うことにしている。前は夜中の2時に目が覚める中途覚醒などあって疲れが取れなかった。

以前は、給料が安くて、生活が苦しくて土日のアルバイトしていた。



4. 雇もれびの会 議事録 (3)

今は、親元で安心して働ける。

まだ、40歳前だし、人生あきらめたくない。

Mさん 週末医療の病院でアルバイトとして働いている。ハローワーク経由で探した。朝6時から夕方3時の勤務。月に休みが非常に少ない。それでも働いて充実している。気の荒い患者さんもいるが優しい患者さんも多い。お菓子を利用者さんからもらえることがある。4人チームで掃除の仕事をしている。3か月で10kg体重が減った。半年間続いている。A型作業所を経由して今に至る。

Kさん 総務事務の仕事をしている。入力。シュレッダー、資料運びなど細々とした仕事もある。休日はソフトボールなど外でスポーツをしている。職場には障害者の人も多い。手帳を持っている人は申し出てください、と張り紙がある。

Hさん 職場のA型作業所で、給料について利用者同士でトラブルがある。仕事の量にかかわらず公平なことに不満をもつひとがいる。休み時間に一緒に文句を聞かされてつらい。職場の派閥のようなものがあってイヤだ。

Nさん 自分は休み時間に一人で別室で過ごせるような配慮をお願いしている。

Tさん 作業所では工賃の昇給がないのが問題ではないのか？最低賃金の問題も。、まだ法整備が不十分ではないか？給料を上げるように組合などにお願いしたいが、障害者だとそれも難しい。法定雇用率ですら守れていない企業もあるし、民業圧迫という声すらある。

Bさん 自分も時給は安いし、昇給もない。けど、民間企業ならしょうがない。人間関係がいいので納得している。



5. 社会保険労務士からコラム

こんにちは
伊尾 名王実です。

●働いたら年金がなくなる？

障害年金を受給しているけれど、体調が少し良くなったから働いてしまった。そこで、働いたら障害年金が止まってしまうのではないかと、心配になってしまったということは誰にでもあると思います。

障害年金には、働いたら支給ストップという条件はありません。

現在障害年金を受給していれば、更新の時までそのまま障害年金を受給できます。

ただし、更新時の状況では、ストップもあり得ます。

それは、更新時の病状が軽くなったと判断された場合です。

精神疾患の場合、フルタイムで働いていると、障害年金が不支給になる可能性があります。

おおよその目安として、3級はフルタイムの人の50%くらい、2級はフルタイムの人の50%から70%くらいの労働能力だと言われています。

つまり3級の人には週20時間くらい、2級の人には週20時間から12時間くらいの労働であれば、働いても大丈夫だということです。

障害年金は、生活保護と違って、働いてはいけないのではなく、フルタイムで働けないから、その損失分を障害年金で補うという考え方をしています。

なので、働いているから即支給停止とはなりません。

ご安心くださいね。

社会保険労務士
伊尾 名王実



東京都出身。

専修大学卒業後、大手都市銀行に入行。

その後専業主婦、離婚を経て、大手製紙系列の段ボール会社、精密機器会社の子会社、ITベンチャー企業で一貫して総務・経理として勤務。

その間、社会保険労務士受験にチャレンジし2008年に合格。

2009年1月に勤務社労士として登録。

ITベンチャー企業で、毎月のようにうつ病で休職・退職する社員が続き、自分自身もパワハラ・リストラを受けた経験があり、辛い思いをしたことがある。そのことから現在は、うつ病に苦しんでいる方の障害年金受給の力になれればとの思いで、障害年金コンサルタントとして活躍中。障害年金の裁定請求方法がよくわからない、裁定請求したけれど結果が不満という方々のために、障害年金の知識を配信している。

6. 山梨での取り組み

精神・発達障害者への支援 ～富山型デイサービス NPO法人かんむらにおいて～

山梨県で最初に作られた富山型デイサービス（現在2か所あり）が、「NPO法人かんむら」というところです。

富山型デイサービスは、「赤ちゃんから高齢者まで、障害の有無にかかわらず、どの時間に利用してもいい」というもので、かんむらの利用者定員は10名。基本は介護保険指定事務所なので、高齢者の方々が利用されていますが、定員内なら他に年齢・障害の有無を問わず利用できます。

4か月児～96歳までこれまで利用がありました。障害者は身体・精神・発達障害ともに利用があります。

最近は無就学の発達障害の児童が主に利用しています。今後、学校との連携する場も増えてくるであろうことを想定し、時々保育園・学校は訪問しています。御家庭や保育園との情報交換で、主に生活面のしつけに重点を置き、関わっています。

特別支援学校の高等部の生徒も、就労実習の受け入れもしています。過去にも卒業後、有償ボランティアとして2年間勤務していた子もいます。

次の希望の就職先が決まり、そこでの勤務を継続してそろそろ1年半になりますが、仕事帰りに寄ってくれて変わらず、みんなとおしゃべりしたり手伝ったり…とつながっています。

有償ボランティアとして就労する方は、本人の人間性や特性と一緒に過ごす中で見つけ、自然に仕事の内容が決まっていくような感じです。

現在は知的の方が1名、茶碗洗いやみそ汁作り・ごはん炊きといった簡単な炊事、洗濯干し・たたみ、草取りなどの軽作業を仕事として働いています。

週6日9時～18時。休憩時間は比較的自由に取っています。

他では、かんむらの近くに精神科の病院があることもあり、病院およびリハビリ部門にかんむらでのデイサービスの利用や就労ができる方がいないか、時々声掛けをしています。

高齢者の中で障害を持たれる方が、家族と絶縁したり、家族が亡くなられたり…という中で孤立し、過酷な環境の中で発見されてかんむらに来られることもあります。

在宅での生活を支えることと、地域に戻って生活するために、つながりを持つ場として利用してほしいという思いがあります。



7. 情報欄

雇もれびの会(自助会)で語ってみませんか？



■内容 精神障がい者の雇用への理解を目的として情報交換や交流を行っています。話した内容の概要はブログやフリーマガジンや発表します。

■場所 新栄「アトリーフ風花」

■問合せ 雇もれびの会
(「雇もれび」で検索)

平成26年度の予定

第二土曜日 午後二時から

今回は、3月8日(土)です。

雇もれびの会のブログ

(yahoo! ブログを更新中です。ぜひ、チェックしてください。)



http://blogs.yahoo.co.jp/komorebi_no_kai

この冊子は、スポンサー企業の寄付提供と会費により作成しています。